

つ 世 宮 け ん 都 宮 字 都 宮

CONSTRUCTION

vol. 327

2023

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様



JR 烏山線 100周年 写真提供：岩村建設(株) 齋藤 隆久 様



一般社団法人 宇都宮建設業協会

会長あいさつ



新年度に向けて

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 菊池 三紀男

皆様のおかげをもちまして、現在の執行体制も2期目の折り返し点に差し掛かりました。

ここまでの3年間は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、大きく変動する社会情勢に追われる状況となり、昨年度だけを振り返りましても、新型コロナウイルス・オミクロン株の流行やロシアのウクライナ侵攻に端を発した原油・物価の高騰、さらには歴史的な円安などが、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

一方で、3年ぶりとなる「餃子祭り」や「宇都宮マラソン大会」の開催、さらには「宇都宮駅東口地区のまち開き」など、街にはコロナ禍前の活気が戻りつつあり、当協会におきましても、3年ぶりとなる高校生インターンシップの受入れや就業支援事業「体験型出前講座」の実施など、会員の皆様の絶大なるご理解とご支援のもと、建設業界の振興と地域の発展に寄与すべく、様々な取り組みを進めることができました。

そして、このような激動の時代にありましても、地域における社会資本整備の担い手として、さらには安全・安心な地域の守り手としての役割を滞りなく果たすため、日々ご尽力されております会員の皆様方に対しまして、改めて敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

今後は、新型コロナの5類感染症への移行を受け、各種政策の効果による景気の持ち直しが期待されるものの、ウクライナ情勢等に伴う原材料価格の上昇や供給面での制約等のリスクなど、引き続き不透明感が見られる中で、栃木県及び宇都宮市における建設関係投資額の減少という地域固有の課題もあり、地方建設業の疲弊が懸念されるところです。

このような中、我々地域の建設業には、気候変動の影響により、近年頻発化、激甚化している集中豪雨や台風の被害、さらには、近い将来発生することが想定されている南海トラフ地震や首都直下型地震等の巨大地震などに対する事前防災・減災の推進、老朽化した社会インフラの再構築など、来るポストコロナの時代も見据えた「新しい地域の創造」に向けて、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会基盤づくりの担い手としての期待が寄せられています。

また、2024年からは、建設業においても時間外労働の上限規制が適用され、長年の課題である長時間労働の是正が文字どおり待ったなしとなる中で、働き方改革の推進や生産性の向上を早急に進めることにより、建設業で働く人々や、建設業を目指す若者が、夢と誇りを持って活躍できる、魅力ある職場づくりに取り組んでいくことが必要不可欠となっています。

今年度におきましても、引き続き不透明な社会経済環境が続くものと思われませんが、地域社会を支える基幹産業として、総合的な労働災害防止対策に一元となって取り組みながら、社会資本整備はもとより、異常気象時の対応や地域貢献活動など、地域に根差した活動を積極的に展開するとともに、県・市等の行政機関や関係団体とも連携・協調し、会員企業の健全で持続的な経営基盤を構築していくための各種事業に全力で取り組んで参る所存でありますので、会員の皆様並びに関係各位の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げ、新年度に向けた挨拶といたします。

令和5年度 通常総会

2023.5.22(月)



令和5年5月22日(月)、ホテルニューイタヤにおいて令和5年度通常総会が開催されました。総会冒頭、菊池会長は「昨年度は、新型コロナウイルス感染症の第7波、第8波に見舞われ対応に追われたが、3年ぶりに各イベントが開催され、街にも活気が戻りつつある。また、当協会としても高校生インターンシップの受入れを行うことができた。今後は地域を支える基幹産業として、労働災害防止に会員一丸となって取り組み、社会資本整備はもとより、地域の守り手としての活動を積極的に展開していく」と挨拶がありました。総会に先立ち、永年勤続役員・永年勤続委員表彰の授与と新入会員紹介が行われました。



◀永年勤続表彰を受ける
荒井恭一氏

令和5年度の主な事業計画

1. 建設業の技術の向上及び経営の改善に関する研修会の開催（公益目的事業）
2. 建設業に関する情報の収集及び提供並びに関係法令の調査研究
3. 災害時の緊急対応等住民支援活動の推進（公益目的事業）
4. 地域における建設業に関わる人材育成並びに就業支援事業の推進（公益目的事業）
5. 地域環境美化活動の推進（公益目的事業）
6. 社会、公益に貢献する団体等が主催する事業への協力及び助成（公益目的事業）
7. 子供や高齢者が安全で安心できる社会の実現に向けた活動の推進及び団体等の事業への協賛（公益目的事業）
8. 機関誌等の発行による地域社会に対する情報発信活動
9. 地域住民の安全確保のために行う建設工事現場安全パトロールの実施（公益目的事業）
10. 暴力団及び反社会的勢力対策のために行う普及啓発活動（公益目的事業）

(吉沼弘之)

永年勤続表彰 受賞者

永年勤続役員15年 荒井 恭一《(株)丸あ組》
 永年勤続役員10年 渡辺 眞幸《(株)渡辺建設》
 永年勤続委員20年 荒井 恭一《(株)丸あ組》
 神戸 伸房《(株)神戸組》
 吉沼 弘之《(株)神吉工業》
 庭野 宏隆《(株)庭野建設》
 入江 克拓《(株)入江組》
 入江 誠《(株)大幹建設》

永年勤続委員15年 津野田 哲《(株)津野田土木》
 永年勤続委員10年 熊本 正治《(株)熊本商店》
 渡辺 眞幸《(株)渡辺建設》
 千葉 貢義《(株)千葉建設》
 野中伸之助《(株)野中建設》
 増渕 勝明《(株)増渕組》

おめでとうございます

新入会員

(株)エム・プロダクト

代表取締役 佐藤 義晴氏

新任挨拶



人が育ち、地域が活きる、未来に誇れる県央地域を目指して

栃木県宇都宮土木事務所長 安西 正夫

この度、栃木県宇都宮土木事務所長に就任した安西でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃より、県土整備行政の推進や異常気象時における迅速な対応など、格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、人口減少や高齢化が進み、新型コロナウイルスによる感染症への対策など、産業構造や生活スタイルが変化中、自然災害の頻発・激甚化や社会資本の老朽化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。

このような変化に対応するために、当事務所では「産業成長、安全・安心、地域・環境」をテーマに、社会資本の整備・保全に取り組んでおります。

具体的には、国道408号のバイパスをはじめとする幹線道路ネットワークの充実・強化や、田川や姿川をはじめとする河川の再度災害防止及び流域治水対策、通学路の歩道整備、橋梁等の長寿命化対策を進め、経済の成長と安全・安心な地域づくりを図って参ります。また、大通りなどの都市計画道路の整備や無電柱化を進め、環境改善事業にも取り組んで参ります。

最後に、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念し、就任の挨拶といたします。



持続可能な流域下水道事業を目指して

栃木県下水道管理事務所長 寺内 修一

この度、栃木県下水道管理事務所長に就任しました寺内でございます。宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃より県土整備行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当事務所では、県民の快適な生活環境づくりと良好な水環境の保全を図るため、県内4流域6処理区の浄化センターにおいて関係10市町の公共下水道の汚水を処理する流域下水道事業を実施するとともに、県と17市町の共同事業で県内36の汚水処理場で発生する脱水汚泥等を下水道資源化工場に集約し焼却する汚泥処理を行っています。

また、各処理区において、汚水処理の過程で発生するメタンガスを含む消化ガスは、発電事業に活用するとともに、汚水処理に必要な施設の敷地を有効活用した太陽光発電の屋根貸事業に取り組むなど、再生可能エネルギーを積極的に活用するとともに、下水道資源化工場で生成された焼却灰は、民間事業者によりセメントの原材料として有効活用されております。

このようなことから流域下水道施設は、持続可能な循環型社会を形成する上で、極めて有効な施設であり、これらの施設の適切な運転管理と計画的な改築・更新に、職員一同使命を持って日々取り組んでおります。

今後とも、時代のニーズを捉えた下水道事業を関係市町と協力し、展開して参りますので、引き続き貴協会の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を御祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



～林業・木材産業の産業力強化と災害に強い森づくりの推進～

栃木県東環境森林事務所長 川上 晴代

この度、栃木県東環境森林事務所長に就任しました川上でございます。宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、急峻かつ狭隘な山間部における森林土木及び自然公園事業の実施に当たり、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事務所では、「とちぎの元気な森を100年先の未来へ」のため、スマート林業の推進や皆伐・再造林による森林の若返り、民間施設の木造・木質化を促進するとともに、豪雨等により発生した林地崩壊等の復旧に取り組んでおります。

宇都宮市内においても緊急度の高い箇所のハード対策や小学生を対象とした山地防災講習会を実施し、地域における防災・減災意識の醸成に努めているところです。

また近年、林業や建設業関係でも女性活躍の場が広がりを見せております。本県で開催されました「G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」を契機に「若者、女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくり」がより進みますよう、皆様方の御協力をお願い申し上げますとともに、貴協会の益々の御発展と会員皆様の御活躍を祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。

新任挨拶



信頼され続ける上下水道事業をめざして

宇都宮市上下水道事業管理者 大竹 信久

この度、宇都宮市上下水道事業管理者に就任いたしました大竹でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、上下水道事業の発展はもとより、市政運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市上下水道局は、「地球の限られた資源である『水』を守り、『水』にこだわり、『水』を通じて、お客様に最良のサービスを提供し、快適な生活環境を確保するとともに、未来に向かって地球環境の保全に貢献します。」を経営理念に掲げ、日夜、安全で美味しい上水の安定供給と下水道を通して、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に努めております。

このような中、人口減少・超高齢化の問題や激甚化する自然災害、施設の老朽化、カーボンニュートラル、DXの推進など上下水道事業を取り巻く社会環境は大きく変化しており、これらに迅速かつ的確に対応していくことが私の使命だと思っております。

一方、こうした課題を解決していくためには、高い技術力や豊富な知識、実績を有する貴協会の皆様のご協力なしには成し得ないものと認識しており、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



安全・安心で持続可能なまちづくりを目指して

宇都宮市建設部長 矢野 公久

この度、宇都宮市建設部長に就任いたしました矢野でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃より、本市のまちづくりに格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

特に国内初の全線新設となるLRTの整備におきましては、貴協会の皆様に総力を挙げてご協力をいただき、本年8月に駅東側の開業を迎えられますことに重ねて御礼申し上げます。

さて、建設部におきましては、道路・河川・LRTなどの整備や公共建築物・橋りょうの長寿命化など都市基盤の整備・保全に加え、市内の浸水被害の軽減に向けた総合的な治水・雨水対策の推進や災害発生時の迅速な対応におきましても、「地域の守り手」という高い意識と気概を持った貴協会の皆様と一丸となって取り組み、災害に強いまちづくりを進め、市民の安全・安心をより確かなものにしてまいりたいと考えております。

今後とも、本市の目指すまちづくりを実現していくためには、地域に根差し、地域に精通した貴協会の皆様の豊富な知識・経験、高度な技術力が必要不可欠でありますことから、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



「誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができる都市」を目指して

宇都宮市都市整備部長 高橋 裕司

この度、宇都宮市都市整備部長に就任しました高橋でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、都市整備部におきましては、人口減少や少子・超高齢社会を見据え、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現に向け取り組んでいるところであります。

その具現化に当たりましては、持続可能な都市構造である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成をまちづくりの基盤としながら、JR宇都宮駅周辺をはじめとする都市拠点や地域拠点へ各種支援施策を活用し機能誘導をより一層進めるとともに、「LRT整備と連携した沿線や都心部のまちづくり」や「地域特性に応じた良好な景観形成の推進」、「大規模盛土造成地における滑動崩落防止事業」、「民間賃貸住宅を活用した新たな住宅セーフティネットの構築」、「生活に癒しや潤いを与える緑と憩いの拠点づくり」、「安全で機能的な居住環境を形成する土地区画整理事業」、「中心市街地の再開発事業」を、着実に推進してまいります。

結びになりますが、「スーパースマートシティ」実現のためには、地域に根差し、地域に精通した貴協会の皆様の豊富な知識・経験、高度な技術力が必要不可欠でありますことから、今後とも、より一層の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



2023.2.27(月)

令和4年度建設業災害防止トップセミナー開催

令和5年2月27日(月)、建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会はホテルニューイタヤにて、栃木県・宇都宮市職員及び分会員の総勢120名が出席し「令和4年度建設業災害防止トップセミナー」を開催しました。

このセミナーは労働災害の防止に向け、基礎となる分会員の健全な経営基盤の確立に向け、建設産業の置かれた状況や将来の見通しに関する正しい情報を得ていただくため、実施しているものです。

冒頭に、菊池三紀男分会長から『私たち建設産業は、社会資本整備の担い手として、さらには地域の守り手としての使命を担い、市民の皆様が安心・安全に暮らせる社会づくりに向け、日々取り組んでいるところでありますが、この重要な使命を、将来にわたり責任を持って果たしていくためには、継続的な仕事量の確保や人材の確保など、解決しなければならない多くの課題があります。』と安全に対する努力の徹底を求めました。

講演では、国土学総合研究所所長及び一般社団法人全日本建設技術協会会長としてご活躍をされている、大石久和氏をお招きし、『地域・インフラ・建設業 未来創造と経済成長』の講話を頂き、建設業が将来に向かって明るく元気に希望を持つことが出来る有意義なお話を伺うことができました。

(庭野宏隆)



新 入 会 員

株式会社エム・プロダクト



代表取締役
佐藤 義晴

この度、栃木県建設業協会並びに宇都宮建設業協会に入会させていただき、誠にありがとうございます。私は株式会社エム・プロダクトの佐藤と申します。新入会員ということで、「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会をいただき、感謝申し上げます。

弊社は、昭和56年に創業してから、今年で42年を数える会社でございます。これまで弊社は、地域社会に根差し、地域に貢献という企業理念のもと、ボラン



ティア活動等の社会貢献を行ってきました。一社では不可能であっても、団体であれば実現できることもあると思います。今後は建設業協会の一員として、会員の皆様にご指導、ご鞭撻をいただきながら、業界の諸先輩方と活動し、地域社会の活性化に貢献できればと考えております。よろしくお願いいたします。

2023.6.7 水



通常総会

令和5年6月7日（水）ホテルニューイタヤにおいて宇都宮建設業青年の会の令和5年度通常総会が開催されました。

冒頭、田仲会長は「コロナの影響により城址まつりが中止となったものの、マラソン大会への協力や、献血活動、若手技術者意見交換会、宇都宮工業高校出前講座（環境土木科）などを計画どおり実施し、さらに宇工出前講座では建築デザイン科にも対応し内容を充実できたこと、また他団体の行う『みやJOY』にもブース協力するなど、新たな取り組みができた。このように多くの活動ができたのは会員皆様のご理解ご協力のおかげ」と感謝の意を表しました。

次に、卒業会員である入江様（㈱入江組）、入江様（大幹建設㈱）、田仲様（元重建設㈱）、船見様（三正建㈱）が紹介され、田仲会長より長年のご功績に対し感謝の意

を述べ記念品が贈呈されました。これを受け各々の卒業生は、参加者に対しこれまでの会の歴史やエールの言葉を述べ、引続きの支援を惜しまないことを伝えました。

議事では、津野田幹事長の進行のもと、事業経過並びに決算、新年度計画並びに予算案が原案どおり可決され、続く役員改選では菊池新会長をはじめとする新執行部が満場一致で承認されました。

菊池新会長は、「人々がコロナ禍を乗り越え新たな一歩を踏み出す節目の時に会長を拝命することは、これまでの歴史を踏まえつつ今後の会のあり方をよく考えるよう言われているのだと認識している。皆様にはたくさんのご意見をお聞かせいただきたい」と述べ、若手同士の結束を促しました。

（菊池祥一）



令和5年度 宇都宮建設業青年の会 役員名簿

会長	菊池祥一	[山本建設(株)]
副会長	増渕明哲	[㈱増渕組]
幹事	津野田	[㈱津野田土木]
幹事	柴田洋輔	[柴田建設(株)]
同	清水一樹	[㈱清水造園]
会計幹事	轟昂洋	[日豊工業(株)]
会計監査	渡邊剛	[陽西建設(株)]
同	福田嘉貴	[(株)興建]

2023.2.15 水



宇都宮工業高校出前講座

総合学習支援活動

宇都宮建設業青年の会は宇都宮工業高校にて、総合学習支援活動及び若年者建設業担い手育成支援事業の一環として出前講座を行いました。昨年までは環境土木科のみの実施でしたが、今回より建築デザイン科も受け持つこととなりました。

当日は合同で開講式を行い、それぞれ移動しての出前講座となりました。環境土木科2年生は「地下河川耐震化工事（釜川放水路）の現場見学会」の後、学校に戻り「土木の魅力と現場監督の仕事について」の座学、学校敷地内にて「アスファルト舗装工事の実習」を行いました。建築デザイン科2年生は「カンセキスタジアムとちぎ、ユウケイ武

道館の見学会」の後、スタジアムの会議室にて「若手監督の一日」の座学及び「若手女性現場監督との座談会」を行いました。



土木科・建築科ともに普段は目にする場所での見学会、実際に働いている時の現場監督の一日の仕事内容など、学校では学べない内容に熱心に聞き入る生徒の皆さんが印象的でした。

次世代の担い手を育成していくことが私たち現役世代の役目です。限られた時間の中でしたが、建設業の「面白さ」や「実情」を伝えることができたと思います。今回の出前講座に参加した生徒の皆さんに、より一層建設業界への理解や興味を持っていただき、これから来る進路選択の際に役立てば幸いです。

（菊池祥一）





宇都宮建設業協会会員企業から栄誉ある受章

元理事 中島 理氏

宇都宮建設業協会の理事を永らく務められた中島理氏が、令和4年秋の叙勲において間接税の自主的な申告納税体制の確立を通して円滑な税務運営に協力した功勞により、旭日小綬章の栄譽に輝きました。

中島氏はミュキ建設株式会社の会長としての職務に加え、栃木県間税会連合会会長としてもご活躍されています。

企業の健康づくりをはじめましょう！

宇都宮市では、「宇都宮市地域・職域連携推進協議会」を設置し、講演会や出前講座の開催、「職場における健康づくり応援サイト」を活用した健康情報の発信などに取り組み、事業所の主体的な健康づくりを推進しています。このたび、市内建設業の事業所において取り組んだ「健康づくりのモデル事業」について、その成果をご紹介します。また、モデル事業で使用した「健康メモ」はダウンロード可能で、「健康パネル」は無料で貸し出ししています。

健康づくりに取り組んだ事業所の概要



株式会社 美雪興業

【従業員数】24名

- 【取組内容】●月ごとに事務所内に健康パネル等の展示物を掲示
- 月ごとに健康メモを配布

取組の結果



取組の前後に実施した従業員アンケートにおいて、「食生活」「運動」「嗜好品等」の項目で「意識の変化」だけでなく、「行動の変化」が見られ、特に糖尿病予防に関しては、取組の前後で約7割の従業員に「意識の変化」が生まれました。

取組の詳細は右記のURLをご覧ください▶ <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kenko/1018704/1021803/1030873.html>

【問合せ先】宇都宮市地域・職域連携推進協議会事務局
(宇都宮市健康増進課)
TEL 028-626-1128 FAX 028-627-9244

「職場における健康づくり応援サイト」のQRコード
「健康メモ」をこちらからダウンロード



宇建協会員の皆様の安全・安心をお手伝いします



山本損保 プロ保険サービス

〒320-0056 宇都宮市戸祭2-11-39 (文星女子高交差点角)
TEL:028-625-5555 FAX:028-624-9630

編集後記

2019年に発生し、3年以上続いた新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症へ移行され、収束への区切りがつかまりました。

パンデミックが起きたことにより、各国で著名人をはじめ多くの死者を出し、日本国内でも社会の仕組みや人々の意識に影響を与え、特にコロナワクチンの接種については正しい情報を見極めることが各人に求められました。

厚生労働省やマスコミは、接種することが「大切ないのちを守るため」と大々的にPRし、多くの人々が複数回接種することで「いのちを守る」と信じました。

メッセンジャー RNA ワクチンやウイルスベクターワクチン等は、一定の効果は見込めるものの副作用も多く、また現行のコロナ株とは別系統の株には効果が薄いなどの問題もあり、さらに長期的な安全性についても各国のドクターで意見が分かれていました。

どうするのが正しい判断なのか、一般人である我々には難しい問いであります。

しかし、パンデミックからくる群集心理に惑わされず冷静になり、起きている事態の背景や専門家の情報を自分自身で集めて熟慮し、正しい判断をすることが大切ではないでしょうか。

(船見佳正)

けんせつ
宇都宮

■1981年7月創刊
■2023年6月25日発行
■発行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会長：菊池 三紀男

■編集：総務委員長 末長 修一
■TEL：028-636-5221
■URL：https://ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：fff@olive.ocn.ne.jp

